

各 位

2015 年 7 月 31 日
株式会社インプレス

月間配信数 3,000 本のニュースサイト「ナタリー」の文章術に学ぶ
『新しい文章力の教室』発売。
ブックファースト新宿にて先行販売&購入者特典イベントも

インプレスグループで IT 関連出版メディア事業、およびパートナー出版事業、デジタルメディア & サービス事業を展開する株式会社インプレス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:関本彰大)は、『新しい文章力の教室 苦手を得意に変えるナタリー式トレーニング(できるビジネス)』を 8 月 7 日(金)に発売いたします。本書は毎月 3,000 本以上の記事を配信するニュースサイト「ナタリー」の実践方法で、文章が思い通りに書けるようになる、まったく新しい文章術本です。

発売を記念して、本日 7 月 31 日(金)よりブックファースト新宿にて先行販売を開始、また 8 月に購入者特典イベントを開催いたします。

**■書誌情報**

書名:『新しい文章力の教室 苦手を得意に変えるナタリー式トレーニング(できるビジネス)』

著者:唐木 元

発売日:2015 年 8 月 7 日(金)

仕様:四六判/2 色刷り/208 ページ

紙版価格 定価:本体 1,300 円+税

電子版販売価格 1,180 円+税

※電子版の表示販売価格は版元直販での参考価格です

▼書籍情報と販売電子書店のご案内

<http://book.impress.co.jp/books/1114101132>**■ニュースサイト「ナタリー」の人材育成メソッドを書籍化**

企画書、報告書、レポート、ブログ、SNS……。いまや仕事とプライベートのあらゆる場面で「伝わる文章」を書く力が求められるようになり、「書けない」という悩みが広く聞かれるようになりました。

「書ける人」はどうやって書いているのでしょうか。本書は月間 3,000 本もの記事を配信するニュースサイト「ナタリー」で実践されている文章の書き方を、一般向けに解説する初めての書籍です。

「ナタリー」は、音楽、マンガ、お笑い、映画を中心に、4 ジャンル合計で 120 万の Twitter フォロワーを持つ国内最大規模のカルチャーニュースサイトです。運営元の株式会社ナターシャでは、取締役の唐木 元氏が通称「唐木ゼミ」と呼ばれる社内勉強会で記

者の育成を行っており、「悩まず書くためにプラモデルを準備する」「事実・ロジック・言葉づかひの順に積み上げる」など独特の概念を通じて、文章を構造的に書くための方法をわかりやすく教えています。

本書はその「唐木ゼミ」の文章教室のエッセンスを凝縮したものです。文章の表面的な改善ポイントだけでなく、文章の組み立て方が根本から変わる考え方が身に付きます。

■誌面イメージ

CHAPTER 1 目標の設定

02 完読される文章、完食されるラーメン

ダメな文章は「食べきれないラーメン」

さあ、完読の目標「完読されるのが良い文章」が設定されました。これを目標にするにあたって、もう少し突っ込んで考えてみたいと思いませんか？

「完読」という概念を捉えるとき、結局論として「完食」という話題を出すと、理解してもらえなさることが多いと思います。フレンチでも韓国料理でも同じことなのですが、ここではつづ、漢字でもなじみのあるラーメンに登場してもらいましょう。

あるラーメン、評判も知らずカラッと入った店を出てきたラーメンが目の前にあるとして、あなたとはどんなとき、食べきれず残してしまいませんか？

それゼミを当てていきましょう。1冊目「多すぎる」「伸びてる」「麺のどしが強い」2冊目「血が流ってる」「店内が不潔」「臭い」「味がなくて硬い」3冊目「食べたら味がなかった」「味が濃すぎる」「食べ残しが多い」……話がラーメンになると、笑顔を早く返ってきます。


ところでこれは文章力の観点です。麺に言い換えておぼろげにいうと、「多すぎる」「伸びてる」「どしが強い」「硬い」「臭い」「味がなくて硬い」「味が濃すぎる」「食べ残しが多い」……話がラーメンになると、笑顔を早く返ってきます。

「完食される文章」についていくことができます。

おいしく完食できる一杯を

適切な長さで、旬の話題で、テンポがいい文章。華やかに付けた内容で、言葉づかひに誤りがなく、表現にダブりがなく変化の付けた文章。読み手の需要に則した、押し付けがましくなく、有用な文章。もちろん条件はこれだけではありませんが、こんな文章がもしあれば、引き込まれたままだままで読んでしまいたいそうです。

これから長く付き合っていく「完食される文章」という期間、見失いそうになったら、おいしく完食できるラーメンを思い出し、ジャッジメントの補助線としてみてください。



お客さんに提供したものは必ず残さず食べてほしいと工夫するのが料理人の情、文章の書き手も、その心遣いは共有できるはずです。

「書く前の準備」の解説に力を入れるのが唐木ゼミの特徴です。

CHAPTER 2 重複チェック

19 文末のバリエーションに気を配る

イベント企画について会議をしました。予算の条件が見合わず資料は完成。結論は承認に持ち直すことになりました。

重複は40%減!

イベント企画について会議をしました。予算の条件が見合わず資料は完成。結論は承認に持ち直すことになりました。

文書レベルの重複を減らすには人海をかけるのが、文末の重複です。本文では文末に「しました」「です」が3回も続いており、不学習の作文のように印象に残っていません。そこで改善文では2つの目現在形に換え、3つ目は言い換えることで重複を減らしました。

10月21日にコンテストが開催。場所は府中の森芸術劇場、各校の中学校の吹奏楽部が出演。

10月21日にコンテストが開催予定。場所は府中の森芸術劇場、各校の中学校の吹奏楽部が出演する。

文末表現は文章の印象を左右する重要な要素です。特に読者や読者の感情の移りや、読者の感情に強く影響します。文末表現のバリエーションを多く持っているのが、文章力の秘訣と書いても過言ではないでしょう。

基本の文末パターンは、動詞（現在/過去）、断定の助動詞（～だ/です）、そして体言止めのみです。これに加えて動詞や形容詞、副詞といった修飾語を付け、さらには間接法や呼かけ（～してほしい）といった変化球でカードを増やしていくことになります。

文末の重複は文章の読み味を決定的に損ねるポイントです。文末が多彩に変わるようになると、読者の心も一人前といえるでしょう。

豊富な例文を通じて、文章力をアップするポイントも身に付きます。

■ブックファースト新宿にて先行販売&購入者限定イベント開催

本書の刊行を記念して、本日 7 月 31 日（金）よりブックファースト新宿にて先行販売を開始いたします。またご購入者限定特典として、下記日程にて著者によるトークイベントを開催の予定です。詳細はブックファーストの Web ページ（下記）をご参照ください。

- ・日時: 2015 年 8 月 21 日（金）19:00～20:30（開場 18:45）
- ・会場: ブックファースト新宿・F ゾーンイベントスペース
- ・購入場所: ブックファースト新宿・地下 2 階 E ゾーンレジカウンターにて販売

▼ブックファースト「イベント&フェア」情報ページ

http://www.book1st.net/event_fair/event/

■著者プロフィール



唐木 元(からき げん)

1974年東京都生まれ。株式会社ナターシャ取締役。大学在学中よりライターとして働き始める。卒業後は事務所「テキストとアイデア」を開設、雑誌を中心に執筆・編集の現場に従事した。2004年より編集者として、ライブドア・パブリッシング、幻冬舎、KI & Company(ジーン編集部)と3つの出版社に勤務。2008年、株式会社ナターシャに参加し、編集長として「コミックナタリー」「おやつナタリー(終了)」「ナタリーストア」を立ち上げた。

●ナタリー

<http://natalie.mu/>

【株式会社インプレス】 <http://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計7,000万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:関本彰大、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当

E-mail: info@impress.co.jp URL: <http://www.impress.co.jp/>